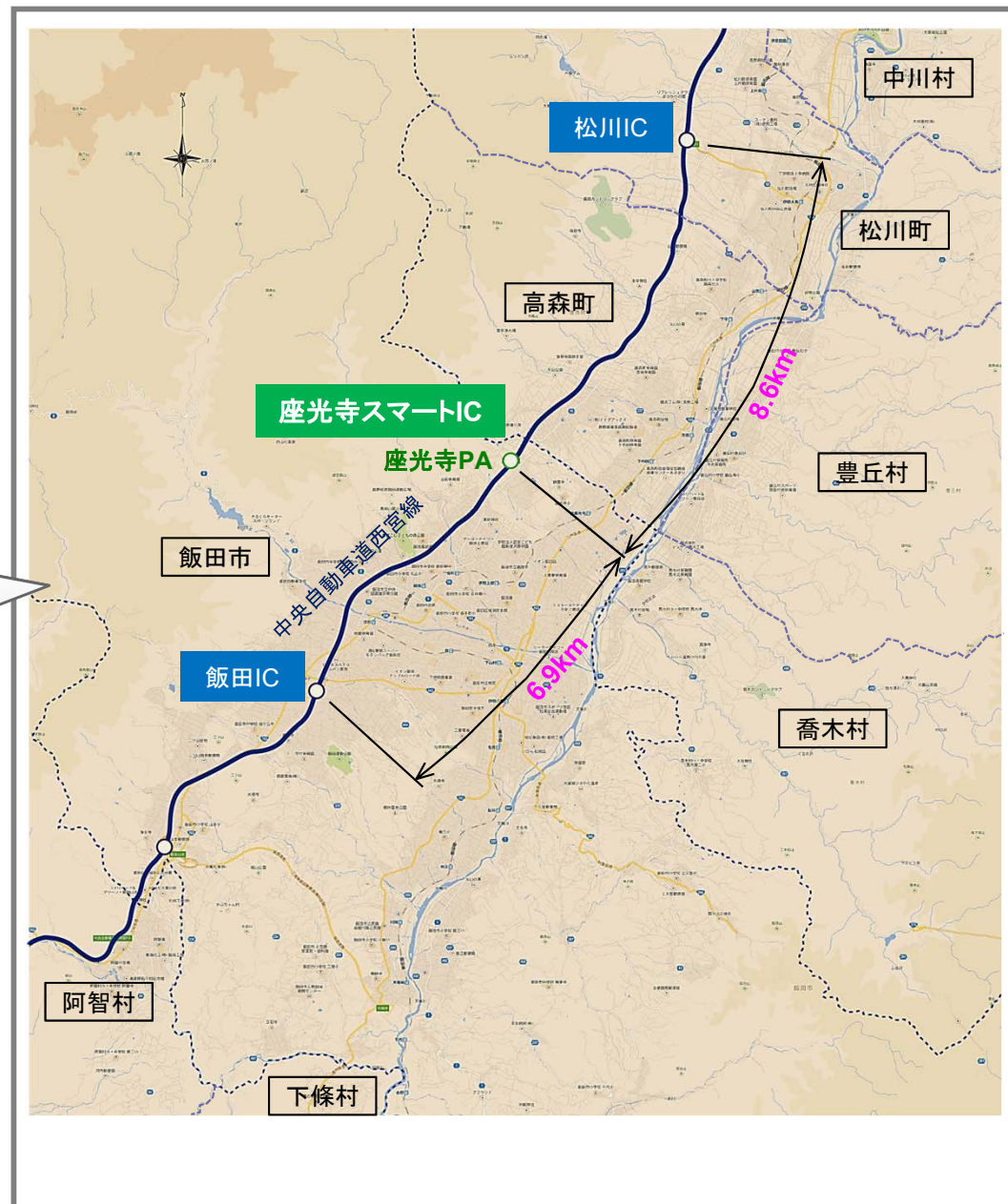
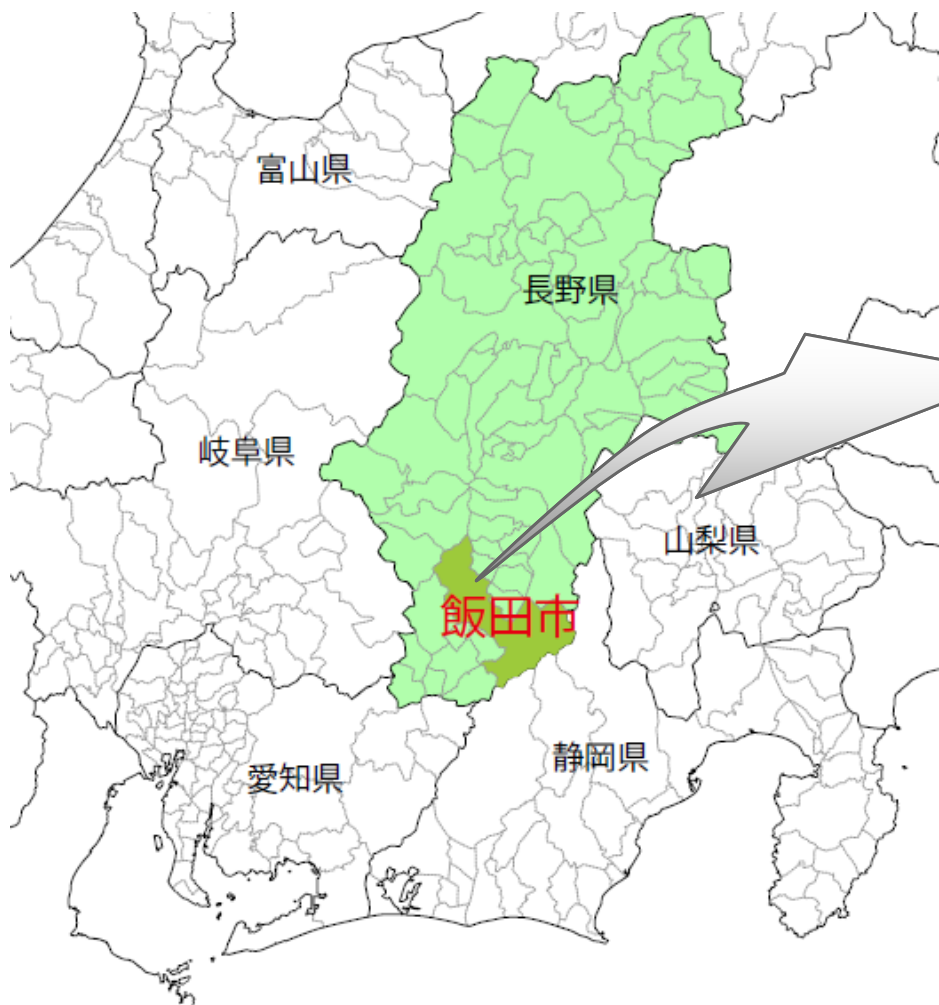




〔路線名〕 中央自動車道西宮線





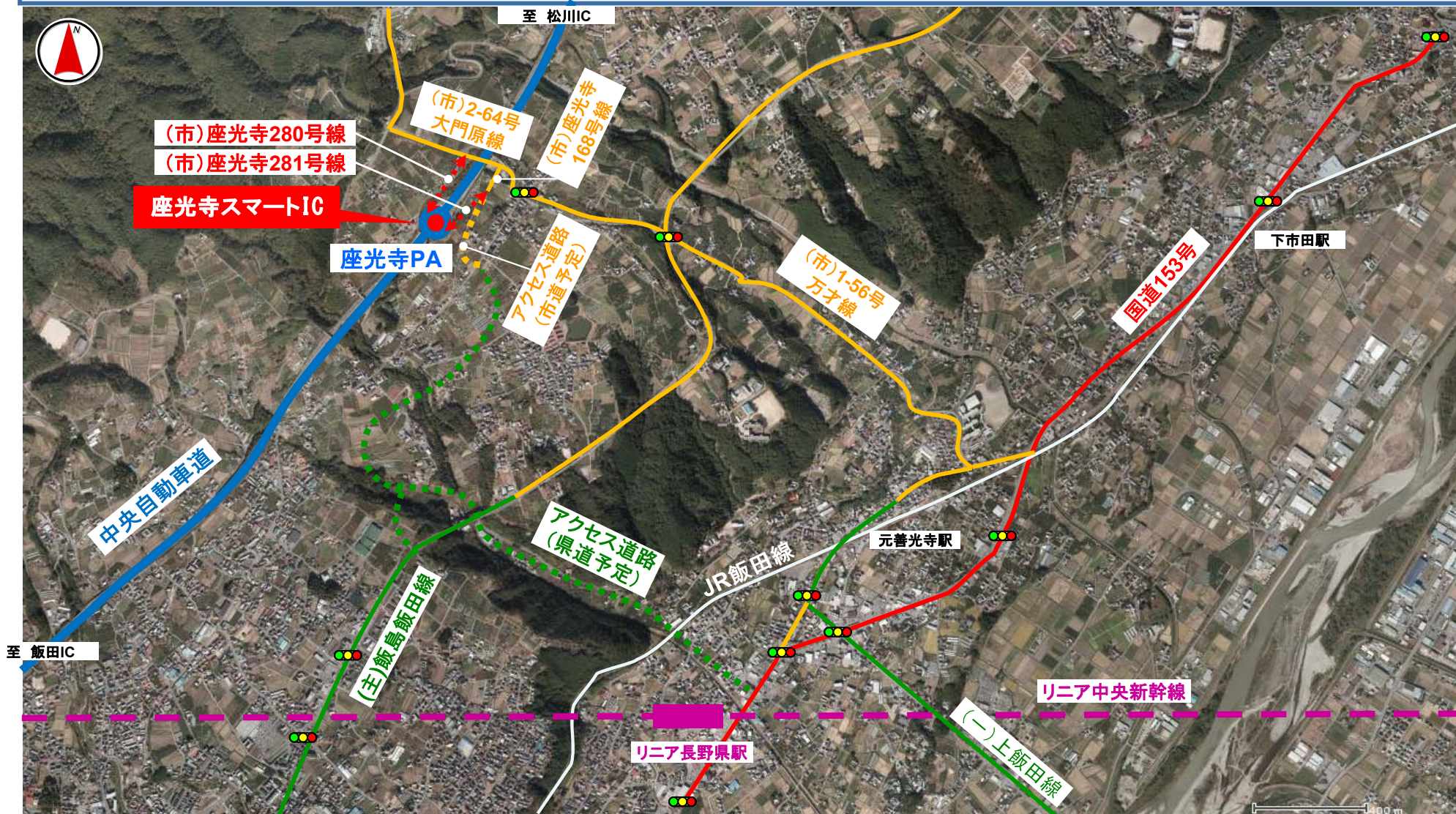
# 連結位置及び連結予定施設

[連結位置]

長野県 飯田市座光寺地先

[連結予定施設]

上り線 市道座光寺280号線  
下り線 市道座光寺281号線

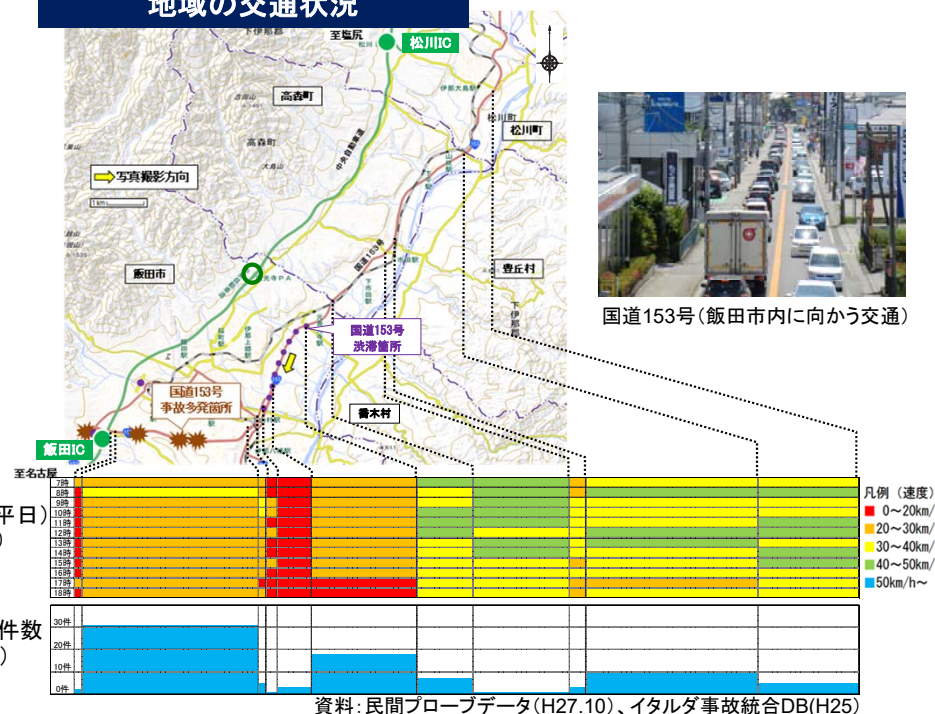


# 連結を必要とする理由

## 1 高速道路の利便性向上

- 現状
  - ・中央道の飯田IC～松川IC間の距離は、15.5kmあります。
  - ・その間の中央道に並行する国道153号は、交通集中による渋滞や事故が多発しています。
- 課題・必要性
  - ・渋滞や事故多発している区間を通過せず、中央道へアクセスすることが課題です。

### 地域の交通状況



国道153号(飯田市内に向かう交通)

## 2 地域工業の生産性向上

- 現状
  - ・飯田市は航空宇宙産業に力を入れており、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定されています。
  - ・飯田市周辺の町村にも「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」指定法人および工業団地が立地していますが、高速ICから約10km以上離れています。
- 課題・必要性
  - ・航空宇宙産業をはじめ、産業の国際競争力を向上させるため、製品の輸送等、特区内の中京圏の企業との連携の強化が重要である。
  - ・産業振興のためには、産業(工業・農業)拠点と中央道のアクセシビリティの向上が必要です。

### 地域の企業立地状況



# 連結を必要とする理由

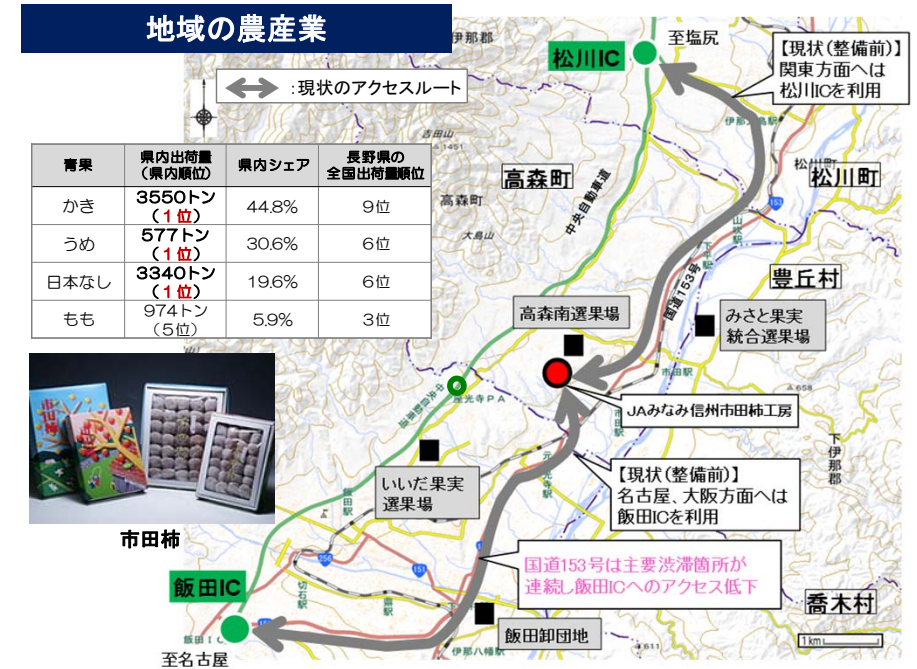
## 3 地域農産物の支援

### ●現状

- ・飯田市は、かき、うめ、日本なしの生産が盛んで、長野県内の出荷量は1位です。
- ・地域ブランドの市田柿は、全国の知名度が高まりつつあり、海外にも輸出され注目を集めています。

### ●課題・必要性

- ・地域の農産物が盛り上がり、選果場等と高速道路のアクセス性を高め発送の支援を図る必要があります。
- ・海外でも注目される市田柿を地域ブランドとして全国に発信しており、商品の流通効率の向上が課題です。



## 4 地域救急医療の支援

### ●現状

- ・飯田市の座光寺スマートIC周辺の地区は、中央自動車道の飯田IC～松川ICの間に位置しており、第三次救急医療施設(飯田市立病院)への搬送に約15分要しています。

### ●課題・必要性

- ・救急搬送にとっては、第三次救急医療施設(飯田市立病院)までの搬送時間の短縮が課題です。



# 連結を必要とする理由

## 5 地域防災機能の向上

### ●現状

- ・中央自動車道の沿線地域は土砂災害警戒区域に指定されている区域が存在しています。
- ・中央自動車道の松川IC付近や飯田IC付近は、土砂災害の発生によって寸断する恐れがあります。

### ●課題・必要性

- ・災害発生時に他地域からの緊急物資等を市内の避難地へ輸送するため、既存ICが被災した場合でも、高速道路と地域の広域避難地へのアクセスを確保する必要があります。

### 地域の土砂災害危険区域の指定状況



## 6 リニア中央新幹線開業時の広域観光支援

### ●現状

- ・リニア中央新幹線は、平成39年(2027年)以降に品川・名古屋間の開業が予定されており、飯田市内にリニア駅が設置される予定です。
- ・既存の高速ICからリニア駅予定地までは5km以上離れています。

### ●課題・必要性

- ・飯田市が策定している「飯田市観光振興ビジョン」では、観光人口の増加を目指しており、飯田市と長野県南信地域の観光地へのアクセス性・周遊性を高める必要があります。

### 地域の観光資源とリニア駅の1時間圏



③ 大芝高原(南箕輪村)



② 駒ヶ根高原(宮田村)

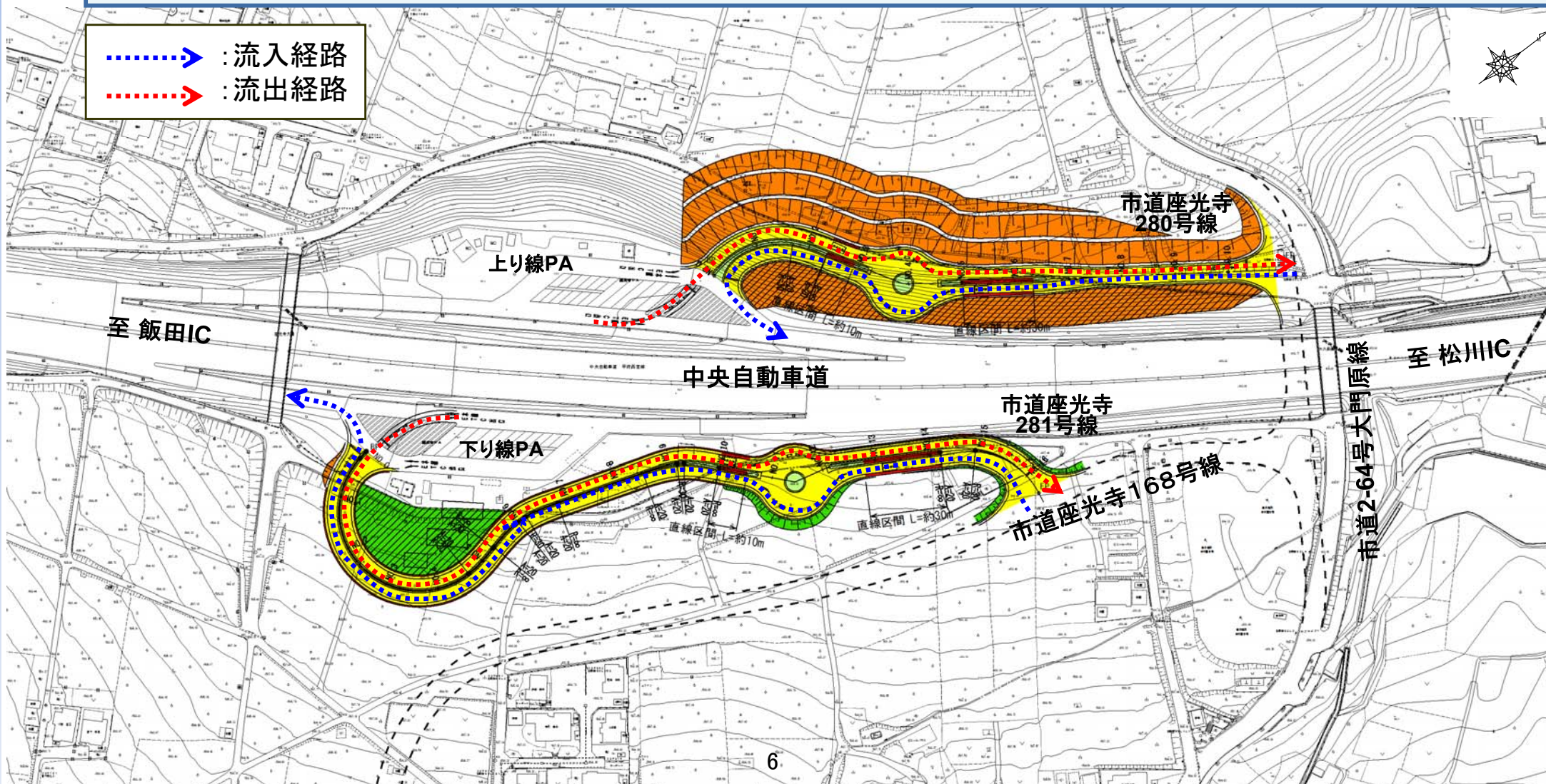


① 屋神温泉(阿智村)

# イメージ図・運営形態



- ①運用形態：フルインター形式
- ②利用方向：全方向（上り線、下り線ともに入出可能）
- ③運用時間：24時間
- ④対応車種：ETC車載器を搭載した全車種  
（軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車。通行可能対象車長 L=12.0m以下）



## 1 座光寺スマートインター供用開始

令和3年3月28日

14:00～ 開通式典及び記念セレモニー

17:00 開通



撮影令和3年3月28日(エス・ハート)



撮影令和3年3月26日

## 2 開通までの経緯

- 平成28年5月23日： 座光寺スマートインターチェンジ地区協議会設立
- 平成28年5月27日： 国土交通大臣へ連結許可申請提出
- 平成28年6月6日： 国土交通大臣より連結許可受理
- 平成28年～平成30年： 路線測量、詳細設計、地質調査、用地測量、物件調査
- 平成30年9月17日： 用地関係者組合設立
- 平成30年～令和元年： 物件補償、用地買収(地権者37名、用地買収面積約24,000㎡)
- 平成31年2月～： 準備工事着手(組合水道移設、補償木伐根、残土受入れ地準備、工所用道路掘削)
- 令和元年11月30日： 安全祈願祭・起工式
- 令和元年12月～： 本格的な工事着手
- 令和2年3月30日： 「座光寺スマートインターチェンジ」名称決定
- 令和2年7月1日： 座光寺PA(下り線)トイレ棟新設・供用開始
- 令和2年9月26～27日： 「新大久保橋」橋梁架設(中央自動車道夜間通行止め)
- 令和3年3月28日： 17時開通